

みたちっ子だより

校長 中路 知恵



みつけよう夢を たすけあおう友と ちからあわせて やる気いっぱい まだまだのびる

にっこりあいさつ

私は毎日、時間を見つけて教室をおじゃましています。4月当初は、私が教室に入ってくると、じーっと眺めてずっと顔をそむける子供もいました。最近は、違います。教室に入ると、「校長先生、おはようございます」と笑顔と共に、元気な声が響く教室が増えてきました。中でも、1年生の教室は、とてもさわやかなあいさつにあふれていて、とても嬉しい気持ちにさせてくれます。とてもあいさつ上手の1年生には、『「おはようございます」に続けて「にこ😊」を付け加えてね』と伝えてみました。「にこ」をつけると、目を合わせたあいさつができるようになると考えたからです。

すると、どうでしょう。朝一番から、黄色い帽子をかぶった最高の笑顔の花が、たくさん咲くようになりました。とても、素敵な朝の風景です。来月は、2年生の教室にたくさんおじゃましてみようと考えています。地域でも「おはようございます。にこ😊」ができる、爽やかな「みたちっ子」を育てていきます。

心を見つめる教育週間

「心を見つめる教育週間」は、長崎県内のすべての学校で実施されるものです。（各学校によって期間はちがいます。）スタートのきっかけとなったのは、いまから20年ほど前に長崎県内で起こった子供が子供を傷つけるという痛ましい事件でした。

私もそうでしたが、長崎県内の大人たちは、あまりにもショッキングな出来事に危機感を抱き、なぜこんなことに・・・と大変心を痛めました。考えても考えても答えが見つからず、みんなで知恵を絞って、子供と本気で向き合うことを誓いました。

心はなかなか見えないので、いろいろな大人がみんなで子供とかかわり、子供たちの心を見つめ、大切に育てていこうという切なる願いからスタートしたこの「心を見つめる教育週間」。この願いは、決して風化させてはいけません。

本校でも、先日、全校集会で少し時間をもらって、「心と言葉」について子供たちに話をしました。次のような内容です。ご家庭でも話題にしていただけると嬉しいです。

「いじわるな言葉」は心にささるトゲになり、「あたたかい言葉」は心のお薬になります。友達と話をするときには、「3・2・1」と時間をおいてから話すと、相手にとってお薬になる言葉をいうことができます。このように、言葉の「3秒タイマー」を働かせ、あたたかい言葉であふれる御館山小学校をつくりましょう。口は、人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使ってほしいです。（校長先生より）

長崎っ子の心を見つめる教育週間キャラクター「ここぼん」

